

令和 3 (2021) 年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	経営分析 (Business Analysis) 393150-14600					担当教員	喬 雪水 (キョウ セツヒョウ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	後期
科目特性	知識定着・確認型 AL								

① 授業のねらい・概要									
経営を語る際、企業の財務諸表で反映される会計数字を語らなければならない。財務諸表の学習でめざすのは、「作る力」と「読む力」の修得である。「作る力」をつけるには、複式簿記の学習が不可欠であり、一方、「読む力」は簿記の理論が分からなくてもつけることができる。本講義は、財務諸表を「読む力」をつける講義であり、IT、自動車、小売業、製薬及び住宅業界において、日本を始め世界の 48 社の実例を分析することを通じて、各社の利益構造及び経営戦略などを理解することを目標とする。									
② ディプロマ・ポリシーとの関連									
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力									
③ 授業の進め方・指示事項									
各回の講義前に、指定する範囲について教科書を必ず一読すること。事後学習に関しては、毎回配布するプリントを復習する。									
④ 関連科目・履修しておくべき科目									
簿記・会計関連の科目を履修していることが望ましい。									
⑤ 標準的な達成レベルの目安									
(i) 各企業の財務諸表数値の意味を理解する									
(ii) 各企業の経営体質の特徴及び強み・弱みを理解する									
(iii) 財務分析に関する基本的な手法を身に付ける									
⑥ テキスト (教科書)									
山根節 (2015) 『「儲かる会社」の財務諸表 48 の実例で身につく経営力・会計力』 光文社新書 テキストの他に、毎回、プリントも配布する。									
⑦ 参考図書・指定図書									
桜井久勝 (2020) 『財務諸表分析 第 8 版』 中央経済社 岡本治雄 (2018) 『会計記号と企業分析』 唯学書房									

⑧ 学習の到達目標とその評価の方法、フィードバックの方法									
具体的な学習到達目標	試験	小テスト	課題	レポート	発表・ 実技	授業への 参加・意欲	その他	合計	

総合評価割合	80%	20%						100%
(i) 各企業の財務諸表数値の意味を理解する	30%							30%
(ii) 各企業の経営体質の特徴及び強み・弱みを理解する	30%							30%
(iii) 財務分析に関する基本的な手法を身に付ける	20%	20%						40%
フィードバックの方法	毎回、講義のポイントと専門用語をまとめるプリントを配布し、書き込み欄と穴埋め箇所を設けることにより、学習した内容を再確認し知識を深める。小テストは1回実施し、その次の授業で返却し解説を行う。							

⑨ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）

経営分析は、いわば会社の健康診断のようなものである。会社の財務諸表を使い定期的な経営分析を行えば、病気を早期治療できるように経営の危機を事前に知ることができ、危険を回避することにつながる。よく耳にする企業の財務諸表を分析することを通じてその実態を理解しましょう。

⑩ 授業計画と学習課題				
回数	授業の内容	持参物	授業外の学習課題と時間（分）	
1	ガイダンス： 企業経営と会計の関係、会計の基本構造	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 11～29 を読んでくること。 配布したプリントを復習すること。	60分
2	エレクトロニクス・IT 業界編①： シャープ、東芝、ソニーの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 32～50 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
3	エレクトロニクス・IT 業界編②： アップル、サムスン、鴻海の比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 50～64 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
4	エレクトロニクス・IT 業界編②： ヤフー、ソフトバンク、NTTドコモの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 64～74 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
5	総括： IT 業界斜め読み	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 74～87 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
6	自動車業界編①： トヨタ、スズキ、ホンダの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 90～108 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
7	自動車業界編②： コマツ、ブリジストン、タカタの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 108～124 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
8	総括： 自動車業界斜め読み 小テストを実施する	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 124～134 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分
9	小売業界編①： ヤマダ電機、アマゾン、楽天の比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 136～158 を読んでくること。 配布したプリントを復習する。	60分

10	小売業界編②: セブン、イオン、ユニクロの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 158～185 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分
11	総括:小売業界斜め読み	教科書、 筆記用具	教科書 pp.186～200 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分
12	製薬業界編①: 武田薬品、大塚HD、キリンの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 202 ～223 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分
13	総括: 製薬業界斜め読み	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 224～237 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分
14	住宅・インフラ業界編①: 三菱地所、 三井不動産、積水ハウスの比較	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 240～266 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分
15	総括: 住宅・インフラ業界斜め読み	教科書、 筆記用具	教科書 pp. 266～291 を読んでくること。配布したプリントを復習する。	60分

⑪ アクティブラーニングについて	
知識定着・確認型 AL を採用する。授業の内容を基に、毎回配布するプリントに内容のまとめ（空欄補助など）を行い、復習し、学習内容をフィードバックする。	

※以下は該当者のみ記載する。

⑫ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
実務経験と授業科目との関連性